

平成21年2月6日

各 位

会社名 ミサワホーム北海道株式会社
代表者名 代表取締役 渡辺 道広
(コード番号 1761 札証)
問合せ先 執行役員総合企画部長 星加 龍哉
(TEL. 011-822-1111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年11月4日付公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想ならびに個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	28,000	150	50	△230	△22円18銭
今回修正予想(B)	27,000	△190	△290	△580	△55円94銭
増減額(B)-(A)	△1,000	△340	△340	△350	—
増減率(%)	△3.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	29,425	257	161	5	54銭

2. 平成21年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	27,000	100	0	△260	△25円8銭
今回修正予想(B)	26,000	△240	△340	△610	△58円84銭
増減額(B)-(A)	△1,000	△340	△340	△350	—
増減率(%)	△3.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	28,252	260	165	5	51銭

3. 修正の理由

当期における北海道経済は、アメリカ経済の急激な減速に端を発した世界的な経済恐慌により、企業業績の急激な悪化、企業倒産が増加するなど雇用、所得環境が厳しい局面となり、先行き不安による消費マインドの低下が高まり、景気は深刻な後退段階に入っております。

住宅業界におきましても、厳しい雇用、所得環境を背景として、消費者の住宅取得意欲は低下し、受注環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況下、従来以上のコスト削減や受注促進に努めましたが、当社においても消費者マインド低下の影響から、住宅工事請負事業および分譲事業の受注が低調に推移し、また繰延税金資産の回収可能性を再検討したことにより、税金費用が増加したこと等から、経常損失2億9千万円、税引後当期純損失5億8千万円となる見込みであります。

※上記業績予想につきましては、現時点における合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上